

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	英語（英会話を含む）	一斉・分割	6時間

教科書 NEW CROWN 3 （三省堂）	副読本 Key ワーク 英語3年 （教育開発出版） 語順ドリル③ （正進社） Pair & Share （いづな書店） キクジク（アルク）
目標・ねらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 自己表現のためのツール（文法、語彙、論理展開）を身に付ける。 3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1 学習方法 (1) 予習 新出単語の品詞、意味を調べ、例文を書く。 (2) 授業 ア 帯活動（Small Talk、速読、瞬間英作文等） イ 新出語句の発音と意味確認 ウ オーラルイントロダクションやリスニングによる本文の概要把握 エ 本文の内容理解と音読 オ 新出文法のルールの理解と活用練習 カ レッソンのトピック、新出文法を使った自己表現と発表 キ 文法確認テスト、まとめテスト、パフォーマンステスト、キクジクテスト等 (3) 復習 ア 音読（学習アプリabceed） イ 家庭学習プリント Practice Makes Perfect (PMP) ウ Key ワーク、語順ドリル、自己表現ノート エ 文法確認テストや単語テスト等に向けての準備 2 長期休業の課題 (1) 与えられたトピックについて、まとめた英文を書く。 (2) 夏期・冬期・春期テキスト（文法練習問題・長文読解問題） (3) キクジクの例文暗記 → 休み明けに確認テストを実施	

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	単語テスト・小テスト・まとめテスト・Final Task
思考・判断・表現	40	英会話・パフォーマンステスト・Final Task
主体的に学習に取り組む態度	20	活動への意欲・提出物・学習への振り返り

年間授業計画表

	単元	目標
前期	【Unit 1 The Power of Words】 Starter Best Music of All Time Lesson 1 Stand by Me (1) 現在完了進行形 肯定文 (2) " 疑問文・応答文・否定文 Take Action! Listen① 避難訓練のアナウンス Take Action! Let's Talk ①おすすめの場所は？ Reading for Information 1 Lesson 2 Languages in India (1) 受動態 (2) 受動態（過去形）	【Unit 1】 現在完了・現在完了進行形を理解し使うことができる。 Lesson 1 (1)音楽の持つ力について考える。 (2)現在完了進行形を理解し、使うことができる。 (3)避難訓練のアナウンスを聞き、必要とする情報を聞き取る。 (4)行ってみたい場所について、「質問する」「情報を付け加える」表現などを用いて自分の考えを伝え合う。 (5)聞いてほしい曲をその理由など加えて紹介する。 (6)商品説明を読んで、自分が必要とする情報を読み取る。 評価基準【A, B】
	【Unit 2 The Way to Peace -What Can We Do for Peace】 Lesson 3 The Story of Sadako (1) 後置修飾 現在分詞・過去分詞 (2) 後置修飾 名詞を説明する文 Take Action! Listen ③ボイスメッセージ Take Action! Let's Talk ③野球と言えば USE Writeおすすめの本を紹介しよう GET Plus 1	【Unit 2】 (1)原爆にまつわる事実を知り、平和について考える。 (2)分詞を用いて人や物について詳しく説明できる。 (3)物語の要約文を書くことができる。 (4)ボイスメッセージを聞き、必要とする情報を聞き取る。 (5)「話題を変える表現」や「確かめる表現」を使って一つの話題を膨らませながら対話する。 (6)おすすめの本を紹介する文を英語で書く。 (7)「状態や気持ちを表す表現」を使い相手に感想を伝える。 評価基準【C, D】
後期	【Unit 3 Manga, Anime and the World】 Lesson 4 The World's Manga and Anime 関係代名詞 主格（who, which, that） 【Unit 4 I Have a Dream】 Lesson 5 I Have a Dream 関係代名詞 目的格（that / which）／接触節 Take Action! Talk⑤買い物しよう	【Unit 3】 (1)世界に広がった漫画とアニメについて知る。 (2)関係代名詞を理解し、使うことができる。 評価基準【C, D】 【Unit 4】 (1)アメリカの公民権運動について知り人権の大切さを考える。 (2)関係代名詞を理解し、使うことができる。 (3)依頼、申し出、承諾の表現を使って買い物ができる。 評価基準【A, B】
	Lesson 6 Imagine to Act 仮定法過去 Take Action! Listen⑥スピーチ Take Action! Talk⑥あなたははどう思う？ GET Plus 2	(1)自分の将来像や将来の夢について考える。 (2)仮定法過去の用法を理解し、使うことができる。 (3)スピーチを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。 (4)議論に参加したり、始めたりする表現を身に付け、意見交換を行う。 (5)色々な動作動詞を学習し仮定法の表現を身に着ける。
	【Unit 5 (The Meaning of) Learning Foreign Languages】 Lesson 7 For Our Future (1) 間接疑問文 (2) help + A + 動詞の原形 GET Plus 3 Project ③ ディスカッションをしよう Reading for Fun 2 A Present for You Reading for Fun 3 Learning from Nature	【Unit 5】 (1)英語と自分との関わりについて考える。 (2)間接疑問文、「help + A + 動詞の原形」を理解し、使うことができる。 (3)依頼する表現を使い相手にしてほしいことを伝える。 (4)空き地について、地域の人の意見を読みどのように活用すればよいか話し合う。 (5)物語文を読み、登場人物の心情を把握する。 (6)説明文を読み、自然界と科学技術とのつながりを読み取る。 評価基準【C, D】

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	国語	一斉	4時間

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 オリエンテーション 2 メディア分析(メディアリテラシーの習得)(UNIT1) 3 「理解」の側面の探究(論説文の読解・伝え方の探究)(UNIT2) 4 文章読解演習(外部テスト対策) 5 漢字学習 6 口語文法 7 言語技術 8 書写	1 年間を通じての授業の方針と、ねらい・目標を理解する 2 コミュニティプロジェクトの調査に向けてメディアリテラシーの習得を目指し、自身の意見に対しても問を自ら立てられるようになる。 3-1 論理的に述べられた文を読み、知識を広げると共に、論理的文章の構成を学ぶ。 3-2 「理解」という言葉を視座に、「伝える」とこと「伝わること」の違いなどを生徒間のコミュニケーションの実践を通して探究する。 4 初見の文章の論理的構造を自ら把握できる力をつける。 5 基礎学力と日々の自主学習のリズムを定着させる。 6 口語文法を総復習し、定着をはかる。 7 論理的な言語の運用ができるようになる。
	1 韻文の効果の探究(韻文・古文)(UNIT3) 2 社会的文学作品の探究(魯迅「故郷」)(UNIT4) 3 文章読解演習 4 漢字学習 5 口語文法 6 言語技術 7 書写	1 古文の紀行文を通して、古文知識の定着をはかるとともに、景色をどのように韻文で切り取ると、受け手の印象はどのように変化するかを検討する。 2 作品の主題を通し、社会的背景と人間の生き方について考える。 3 初見の文章の論理的構造を自ら把握できる力をつける。 4 基礎学力と日々の自主学習のリズムを定着させる。 5 口語文法を総復習し、定着をはかる。 6 論理的な言語の運用ができるようになる。

教科書 中学国語3年(教育出版) 中学書写3(教育出版)	副読本 よくわかる中学国文法(吉野教育図書) 漢検 分野別問題集(日本漢字能力検定協会) 論理エンジンOS3(水王舎)
目標・ねらい ・ものの見方や考え方を深め、言葉を豊かにして目的や場面に応じて的確に表現する力を育てる。 ・文章を論理的に読む、あるいは書く能力を養う。 ・古典に親しみ、日本の文化や伝統について関心を深める。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 学習方法 予習 教科書の本文を読み、分からない語句の意味を辞書で調べておく。 復習 本文・ノート・プリントを見直し、学習内容を理解できているか確認しておく。 関連した本を読むなど読書の興味へつなげる。 文法について 口語文法は敬語を含めた総復習をする。 文語文法は、用言の活用表と係り結びの法則を中心に学習する。 長期休業の課題 長期休業中に、作文もしくは読書感想文を1篇ずつ課題とする。 俳句作り、課題作文等、外部コンクールにも応募する。 小テスト 漢字テスト・語彙テストを定期的実施する。2月の漢字検定試験での合格を目指す。 達成度に応じ、試験後や長期休業時に課題や補いを行う。	
※学年の状況に応じて単元が前後することがある。	

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	20	各課題における言語使用、国文法、漢字テスト、書写
思考・判断・表現	60	テキストの分析・文章読解／口頭での発表・他者の発表の聞き方／長期休業中の課題作文・論文や作文など文書による課題
主体的に学習に取り組む態度	20	課題の提出状況・課題への取り組み態度

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	社会(公民・歴史)	一斉	4時間

教科書 中学社会 公民 ともに生きる(教育出版) 中学歴史 日本と世界(山川出版社)	副読本 ビジュアル公民(とうほう) 学び考える歴史(浜島書店) 新中学問題集歴史Ⅰ・Ⅱ(教育開発出版)
目標・ねらい ・人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること ・個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること ・環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること ・人間のコミュニティーと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること ・地域およびグローバルなコミュニティーの責任ある市民として行動すること ・探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 日常の学習 (1)1つのユニットの中で、歴史的分野と公民的分野の学びを並行しておこなう。 (2)A4サイズのファイルを準備し、配布されたプリント類をポートフォリオとしてまとめる。 (3)ユニットによって座学やグループワーク、個人ワークなどを組み合わせて行う。 (4)ユニット内容に合わせて問題集を解き知識定着をはかること。 (5)学習習慣定着のため、課題提出は必ず行うこと。 2 長期休業の学習 (1)まとまった時間を使って探究課題に取り組む。 (2)上記内容を学園祭にて展示する。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	単元テスト・探究課題
思考・判断・表現	40	単元テスト・探究課題
主体的に学習に取り組む態度	20	探究課題

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット1 3章 立憲国家への道(歴史) 4章 日清・日戦争とアジア(歴史) ★総括的評価課題 ★単元テスト	日本では、どのようにして基本的人権という考え方が生まれていったのかについて、国内の人々の動きと日本を取り巻く欧米の状況をもとに考察する。 【A】【C】
	ユニット2 1. 憲法が保障する基本的人権(公民) 2. 財政の役割(公民) 3. 暮らしを支える社会保障(公民) ★総括的評価課題	基本的人権は、現代社会の中でどのように位置づけられているか、また基本的人権が尊重されるためには財政や社会保障などのしくみが必要であることを考察する。 【B】【D】
後期	ユニット3 1. 近代日本の産業と文化(歴史) 2. 私たちの暮らしと民主政治(公民) ★単元テスト	民主政治を実現するために、どのようにすればすべての人が権利責任を果たし、自らの考えを政治に反映させることができるか考察する。 【A】
	ユニッツ4 1. 第一次世界大戦と日本(歴史) 2. 国際協調の崩壊(歴史) 3. 私たちの暮らしと社会(公民) ★総括的評価課題	資本主義経済の発展によって、経済的にどのような点が豊かになったのか、逆になぜ戦争を引き起こす原因となった帝国主義が誕生したのかを考察する。 【B】【D】
	ユニット5 1. 第二次世界大戦と日本(歴史) 2. 国際社会を生きる私たち(公民) ★総括的評価課題	自国第一主義が、なぜ第二次世界大戦を引き起こすことになったのか、そして戦争はなぜ国内の人権侵害にとどまらず、他国の民族弾圧という状況を起こすのか考察する。 【C】

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	数学	分割	4時間

教科書 新しい数学 3 (東京書籍)	副読本 数学の学習ノート 3年(正進社)
-----------------------	-------------------------

<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の展開を学び、その逆の因数分解ができ、2次方程式が解ける。 ・頂点が原点となる2次関数のグラフが描ける。 ・相似や三平方の定理を活用して、測量ができる。
--

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>○ユニットテストについて</p> <p>(1)授業内容を中心に出題する。</p> <p>(2)ユニットテスト当日に、問題集を提出すること。</p> <p>○その他のテストについて</p> <p>(1)再テスト : ユニットテストの再テスト及び補習</p> <p>(2)MN テスト : 日々の授業内容を確認する小テスト</p> <p>(3)DN テスト : 学習済みの内容を自宅で振り返る宿題</p> <p>(4)TDN テスト : 学力テスト前に再確認するためのDN総まとめテスト</p> <p>○日々の学習について</p> <p>(1)予習として、教科書の例題を読むと良い。ファイルを用いてプリント類を整理する。</p> <p>(2)復習として、問題集を解いて答え合わせと間違い直しをする。</p> <p>(3)入学前と長期休暇の宿題はワークやプリントが配布される。</p> <p>(4)各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。</p> <p>(5)希望者に問題集「STEP演習(数研出版)」を販売する。各自のペースで取り組むこと。</p> <p>(6)各自で「振り返りノート」を準備し、学力テスト後に提出する。</p>

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	50	ユニットテスト・MNテスト
思考・判断・表現	30	レポート・学力テスト・TDNテスト
主体的に学習に取り組む態度	20	提出物・DNテスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット1 1章 多項式 多項式の計算 因数分解 式の計算の利用 ユニットテスト 2章 平方根 平方根 根号を含む式の計算 平方根の利用 ユニットテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・展開と因数分解の関係を把握する。 ・素因数分解ができる。 【A】 <ul style="list-style-type: none"> ・有理数と無理数の違いを理解する。 ・平方根の大小関係を理解する。 ・平方根の加減乗除ができる。 【A】
	ユニット2 3章 2次方程式 2次方程式とその解き方 2次方程式の利用 ユニットテスト ユニット3 4章 関数 関数 $y = ax^2$ 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 いろいろな関数の利用 ユニットテスト レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式を解く。 ・解の公式によって2次方程式を解く。 【B・C】 <ul style="list-style-type: none"> ・2乗に比例する関数を、式や表やグラフに表す。 ・変域を理解する。 ・文章題を、2乗に比例する関数を利用して解く。 【A・D】
後期	ユニット4 5章 相似な図形 相似な図形 平行線と比 相似な図形の面積と体積 ユニットテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の相似条件を理解する。 ・中点連結定理を活用する。 ・三角形の相似の証明ができる。 【B・C】
	6章 円 円周角の定理 円周角の定理の利用 ユニットテスト レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理を理解し、活用できる。 ・円に内接する四角形、円の接線と弦の作る角、方べきの定理を理解し、活用できる。 【B・C】
	ユニット5 7章 三平方の定理 三平方の定理 三平方の定理の利用 ユニットテスト レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理を理解し、活用できる。 【D】

年間授業計画表

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	理科(1分野)	一斉	2時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 3 (啓林館)	副読本 定期テスト対策ワーク理科中3 (エデュケーショナルネットワーク)
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学とその意味するものを理解し正しく認識すること 科学を利益と限界を伴った人間の試みとみなすこと 疑問を抱き、問題を解決し、説明を構築し、議論を判断する、分析的で探究的かつ柔軟な思考を養うこと 調査を計画・実施し、証拠を評価し、結論に達するスキルを養うこと 効果的に協働しコミュニケーションをとる必要性を意識すること 実世界における多様な文脈で言語スキルと知識を活用すること 生物環境と非生物環境に対して敏感になること 学習経験を振り返り、確かな情報に基づき選択をすること 	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1学習方法 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 (2)復習を重視し、小単元ごとに問題演習を行う。 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。</p> <p>2家庭学習 (1)学校からの課題を行う。 (2)テストに向けた学習計画を立て実行する。 (3)夏休みには、課題等を行う。</p> <p>3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。 状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。</p>	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	40	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	20	授業態度、提出物

単元	目標
前期	
MYP UNIT1 エネルギー編 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 力が加わっている条件を理解する 水圧と浮力について理解する 日常生活との関連をはかりながら、力のつり合いと合成・分解、物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解する。 等速直線運動と等加速度運動がおこる条件を理解する。 電車の出発、停止やだるま落としを例に、慣性を理解する 理科における仕事の定義を理解し、仕事の原理を見いだす。また、仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと物体の高さや質量、速さとの関係を見いだす。 摩擦力や空気の抵抗がなければ力学的エネルギーが保存されることを理解する。 <p>MYP: エネルギーを等しくする条件を推定せよ</p>
MYP UNIT4 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにあるいろいろなエネルギーについて気づき、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解し、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。 <p>MYP: 原子力発電は本当に必要なのか</p>
後期	
MYP UNIT5 物質編 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液の電気伝導性の実験から、水溶液には電流を通すものと通さないものがあることを見いだす。 電解質水溶液の電気分解の実験から、電極に物質が生じることよりイオンの存在を見いだす。 イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。
2章 電池とイオン	<ul style="list-style-type: none"> 実験により金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見だし、イオンのモデルと関連付けて理解する。 電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づく。 電池の原理を、イオンのモデルを用いて説明できる。 いろいろな電池に関心をもち、燃料電池の原理も理解する。 <p>MYP: ダニエル電池の電圧を高くせよ</p>
3章 酸・アルカリと塩	<ul style="list-style-type: none"> 酸やアルカリの水溶液の実験により、酸やアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだす。 酸とアルカリの電離のようすをイオンのモデルを使って説明できる。 中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると水と塩ができることを見だし、中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。 <p>MYP: 自作のpH指示薬で水溶液のpHを推定せよ</p>

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット2 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方と成長	1章 生物の成長とふえ方と成長 生殖の観察などを通して、生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解する。また、種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長や生殖を細胞の分裂と関連づけて捉えるとともに、有性生殖における減数分裂について理解する。
	2章 遺伝の規則性と遺伝子	2章 遺伝の規則性と遺伝子 生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子介して親から子へ形質が伝わることを、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。
後期	3章 生物の種類と多様性の進化	3章 生物の種類と多様性と進化 現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。また、生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身に付ける。
	ユニット4(1月～) 1章 自然界のつり合い	1章 自然界のつり合い 植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連付けてとらえると主に、自然界では、これらの生物がつり合いを立って生活していることを観察などを通して見だし理解する。
	2章 さまざまな物質の利用と人間	2章 さまざまな物質の利用と人間 日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識し、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づく。
	3章 科学技術と人間	3章 科学技術と人間 科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解し、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。また、最新の科学技術について調べ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討する。
	4章 人間と環境	4章 人間と環境 身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解させ、自然環境を保全することの重要性を認識させるとともに、大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につけさせる。
5章 持続可能な社会をめざして	5章 持続可能な社会をめざして 科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉えさせ、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察させ、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。	

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	理科(2分野)	一斉	前期1時間 1月から2時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 3 (啓林館)	副読本 定期テスト対策ワーク理科中3 (エデュケーショナルネットワーク)
-----------------------------	--

ねらい

- 科学とその意味するものを理解し正しく認識すること
- 科学を利益と限界を伴った人間の試みとみなすこと
- 疑問を抱き、問題を解決し、説明を構築し、議論を判断する、分析的で探究的かつ柔軟な思考を養うこと
- 調査を計画・実施し、証拠を評価し、結論に達するスキルを養うこと
- 効果的に協働しコミュニケーションをとる必要性を意識すること
- 実世界における多様な文脈で言語スキルと知識を活用すること
- 生物環境と非生物環境に対して敏感になること
- 学習経験を振り返り、確かな情報に基づく選択をすること

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- 1学習方法
- (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。
 - (2)復習を重視し、小単元ごとに問題演習を行う。
 - (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。

- 2家庭学習
- (1)学校からの課題を行う。
 - (2)テストに向けた学習計画を立て実行する。
 - (3)夏休みには、課題等を行う。

- 3授業
- 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。
状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	40	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	20	授業態度、提出物

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	理科(2分野)	一斉	1時間 12月まで

教科書 未来へひろがるサイエンス 3 (啓林館)	副読本 定期テスト対策ワーク理科中3 (エデュケーショナルネットワーク)
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学とその意味するものを理解し正しく認識すること ・科学を利益と限界を伴った人間の試みとみなすこと ・疑問を抱き、問題を解決し、説明を構築し、議論を判断する、分析的で探究的かつ柔軟な思考を養うこと ・調査を計画・実施し、証拠を評価し、結論に達するスキルを養うこと ・効果的に協働しコミュニケーションをとる必要性を意識すること ・実世界における多様な文脈で言語スキルと知識を活用すること ・生物環境と非生物環境に対して敏感になること ・学習経験を振り返り、確かな情報に基づく選択をすること 	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1学習方法</p> <p>(1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。</p> <p>(2)復習を重視し、小单元ごとに問題演習を行う。</p> <p>(3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。</p> <p>2家庭学習</p> <p>(1)学校からの課題を行う。</p> <p>(2)テストに向けた学習計画を立て実行する。</p> <p>(3)夏休みには、課題等を行う。</p> <p>3授業</p> <p>実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。</p> <p>状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。</p>	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	40	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	20	授業態度、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	宇宙を観る	
	1章 地球から宇宙へ	1章 地球から宇宙へ 太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面のようすなどの特徴を見いだして理解し、観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解するとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身に付ける。
	2章 太陽と恒星の働き	2章 太陽と恒星の働き 太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解するとともに、季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解し、天体の動きを観察する技能を身に付ける。
後期	3章 月と金星の動きと見え方	3章 月と金星の動きと見え方 月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解するとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身に付ける。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	音楽	一斉	1時間

教科書 中学生の音楽 2・3年下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	副教材 アルトリコーダー
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を使って、自分を表現する喜びを味わい、豊かな人間性を養う。 演奏や鑑賞を通して、他と協力して一つのものを作り上げる喜びを体験する。 	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の進度により課題の出る場合がある。 各種コンクール等への自主参加は自由。 ユニットに関わらず、演奏活動は随時行う。 	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	まとめテスト・パフォーマンス・小テスト
思考・判断・表現	40	パフォーマンス・平常点・鑑賞
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み・まとめテスト・小テスト・平常点

年間授業計画表

単元	目標
前期	
ユニット1【音楽によせて】	<ul style="list-style-type: none"> 作品の背景となった社会情勢や時代背景を学ぶ。 作曲家について学ぶ。 音楽が社会に与える影響(役割)を考察する。 交響詩について学ぶ。
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 詩や曲の背景を理解し、曲に相応しい歌唱表現を創意工夫する。
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 音色・速度・強弱・旋律を知覚し、音楽の良さと美しさを味わって聴く。
ユニット1【音楽によせて】	
歌唱	同上
鑑賞	
まとめテスト	社会と音楽との関わりについて考察する。
後期	
ユニット2【みんなのうた】	<ul style="list-style-type: none"> 自分が『美しい』と感じた音楽について調べ、音楽を鑑賞する視点を広げる。 楽曲制作背景・作者について解析する。 曲想・歌詞等の楽曲自体について分析し、自分が影響を受けた表現を特定し、自身の言葉で紹介する記事を書く。
楽曲解析	
発表	
ユニット3【心を合わせて】	
アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 音高に応じた美しい音色を奏するための奏法を身に付ける。
合唱	<ul style="list-style-type: none"> 表現に必要な技術を身に付ける。 合奏、合唱を通して、他者の表現の良さや違いを理解する。
パフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> 練習・演奏を通し、音楽的コミュニケーションを図る。 表現する楽しさを感じ、他者の表現を受け入れる。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	美術	一斉	1時間

教科書 美術2・3(光村図書)	副読本 なし
<p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に美術の活動に取り組むなかで、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と能力を高める。 対象を見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や、自分の表現を創意工夫し、創造的に表現する力を伸ばす。 自然の造形や芸術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、芸術文化に対する関心を高め、良さや美しさを味わう鑑賞の能力を育てる。 創造的な思考力を高め、多様性を受け入れるとともに、自己及び他者理解を深め、表現と社会とのつながりを見出す。 	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業時には、制服が汚れないよう十分注意し、タブリエや、エプロン、スモックなどを着用する。 筆記用具、教科書、絵の具バック、タブレットを毎時持参する。 各種コンクールへの参加は自由。 授業進度によって、課題の変更がある。 <p>長期休業課題 調査レポート、鑑賞シート、自作の振り返り、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。</p>	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	提出物(記述・作品)・テスト
思考・判断・表現	40	提出物(記述・作品)・テスト・鑑賞文
主体的に学習に取り組む態度	20	提出物(記述・作品)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	<p>オリエンテーション・鑑賞 「美術史」「画家の自画像」</p> <p>鑑賞・風景画 ユニット3「記憶の展覧会」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 美術の歴史や時代背景と、芸術形式の関係を理解する。 色の組み合わせ、筆跡など絵画を構成する要素から、画家の心情を読み解く。 作者の心情や意図、創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方を深める。 形や色彩、構図や描き方に着目し、絵画鑑賞の力を養う 芸術形式や技法を学び、自作の構想に活かす。
	<p>絵画・水彩 ユニット3「記憶の展覧会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 風景画 遠近法 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞作品を参考に、内面を表すための創造的な工夫や表現を追求する。 自らの心と向き合い、どのような構図や表現法が適切であるか、構想を練る。 表現を進めるなかで客観的に自己を捉え直し、観察力、基礎描写力を高める。 絵画表現に見られる様々な遠近表現や技法を学び、その仕組みについて理解する。 主題を伝えるための、ふさわしい色・形・構図を模索し、構想する力、描写力を高める。
後期	<p>木工・デザイン ユニット4「暮らしの中の美しさ」</p> <ul style="list-style-type: none"> デッサン 木のスプーン 用の美 	<ul style="list-style-type: none"> 素材特性を理解し、自然物の美しさを味わいながら、用具を安全に扱い具現化する。 生活の道具として、暮らしに寄り添った形や手触りについて模索し、機能性と美しさを兼ね備えたデザインの構想を練る。 限られた資源に対する意識やものを大切にすることを養う。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	保健体育	一斉	3時間

教科書 中学保健体育 (学研)	副読本 中学体育実技 2020 (横浜市版 学研)
--------------------	------------------------------

<p>目標・ねらい (IBの目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健体育の概念を探るために探求心を駆使する 多様な状況に効果的に関わる →場面や状況の変化にどう対応すべきか? 運動の価値を理解する →何のために運動するのか? 健康的なライフスタイルを達成し、維持する →健康的なライフスタイルとはどのようなものか? 効果的に連携し、コミュニケーションを図る →どのようなコミュニケーションをとるか? 肯定的な人間関係を築き、社会的な責任感を実際に示す →前向きに仲間と関わるために自分の果たす役割は何か? 自身の学習経験を振り返る →自分のできること、苦手なことは何か? どうすればできるようになるか?

<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体操服をきちんと着用すること。 ○怪我の防止のため、準備運動を徹底すること。 ○ワークシートを期限に提出すること。 <p>見学の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体調を考えながら可能な範囲で参加をし、できるだけ見学はしないこと。 ・見学届は事前に提出すること。
--

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	25	ペーパーテスト・実技テスト
思考・判断・表現	25	授業内での取り組み、ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	25	授業内での状況判断、ワークシート

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭関係 ラジオ体操第2 競技の説明・練習 学年演技の練習 【ユニット1】 バレーボール 水泳 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での役割を自覚し、行動できるようになる。 ・攻撃につながるプレーを探求する。 ・プール、海、川での事故とその防止法について理解する。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。 ・短距離とハードル走のタイムを縮める。
	【ユニット2】 ハードル	
後期	【ユニット3】 ハンドボール	・空き(スペース・人)を作るための工夫や変化を探求する。
	【ユニット4】 サッカー	・ボール保持と空きスペースを作るための工夫や変化を見つける。
	【ユニット5】 ダンス	・パートに分かれて創作を行い、1つの作品に仕上げる。
	【ユニット6】 保健	・中学生の心の発達と健康を理解する。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	技術・家庭(家庭分野)	一斉	1時間

教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して(東京書籍)	副読本 なし
目標・ねらい 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 プリント、課題などは必ず提出すること。 2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。 3 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。	

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	確認テスト、実技テスト
思考・判断・表現	40	ワークシート、課題レポートの内容
主体的に学習に取り組む姿勢	20	授業、課題への取り組み状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	私たちの成長と家族・地域(Unit1) 家族・家族と地域 幼児の生活と家族①	自分の幼児期をふり返し、幼児の発達と生活に関心をもつ。 幼児の体と心の発達及び生活の特徴について知る。 子どもの成長を支える家族や家庭生活、地域の役割について考える。
	幼児の生活と家族②	子どもの喜ぶ遊び道具の製作を通じ、幼児の成長を促す遊びの意義について考え、理解を深める。
後期	幼児の生活と家族③	幼児の栄養の特徴を理解し、幼児の健康や成長に配慮したおやつ献立を考える。
	子どもにとっての家族 これからの家族と地域	調理に関わる基礎的な知識と技術を活用し、安全に留意しながら、おやつの調理を行う。盛り付け等において、幼児にふさわしい工夫ができる。 おもちゃやおやつ作りの実践を振り返りながら、幼児の生活や成長を支えとなる、人々のかかわりについて考える。

履修学年	科目	授業形態	単位数
中学3年	技術・家庭(技術分野)	一斉	1単位

教科書 新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)	副教材 Google Classroom
<p>目標・ねらい 材料と加工の技術の学習を通して、身近な材料の特性や加工方法などの基礎的な知識・技能を習得するとともに、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>	
<p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題は、授業時に終わらせることが前提であるが、終わらない場合は放課後補習という形態をとることがある。 ・グループワークや実習を多く取り入れた授業形態となるため、積極的な活動が求められる。 ・授業を欠席した場合は、登校日に授業内容の確認に来ること。 ・提出物は期限厳守。未提出や提出遅れは平常点の大幅な減点対象となるため注意すること。 	

評価について

項目	割合(%)	項目内容
知識・技能	40	製作品
思考・判断・表現	40	ワークシート、課題レポートの内容
主体的に学習に取り組む姿勢	20	授業、課題への取り組み状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	身近な材料の性質について調べる活動を通して、材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解し、技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。
	材料と加工の技術による問題解決	問題解決のための課題を設定し、製作に必要な図をかくことができる。
後期	材料と加工の技術による問題解決 「生活に役立つ木材を使った製品作り」	製作工程に沿って木製品製作をすることで、木材の特性や加工方法を理解し、基礎的な技能を習得することができる。 また、木製品製作を通して、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学3年	宗教	一斉	1時間

教科書 聖書 新共同訳続編つき (日本聖書協会)	副読本 なし
目標・ねらい ①学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身に付ける。 ②キリスト教の歴史を理解する。 ③聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ④生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) <ul style="list-style-type: none"> ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く。 ・修養会などの宗教行事についての事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには課題を課す。 	

評価について

観点	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	提出物・修養会ノート
キリスト教についての知識・理解	60	課題
キリスト教的価値観を表現する力	20	課題・レポート(読書感想文など)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの宣教、イエスの生涯 たとえ話 ・私とは？① ・修養会 	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書のたとえ話の意図を理解する。 ・自分の価値観を考察しながら、自分自身を知る。 ・修養会に向けた準備を進める。 ・「奉仕の心を育てよう」をテーマに、指導司祭の経歴や著作などを通して、自己の内面と向き合う。 ・聖母月に向けての雰囲気を作る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「選択」 ・聖パウロ 	<ul style="list-style-type: none"> ・神の愛に信頼をおきながら、自由に「選択」していく大切さを知る。 ・自らの選びの大切さを実感する。 ・聖パウロの生涯から、人生の選択や回心とは何かを理解する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・私とは？② 他者を通して自分を知る ・コルベ神父の生涯 ・Sr.渡辺和子の生涯 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分では見つけられない自分自身を、他者を通して知り、新しい自分を見つけ、自己理解を深める。 ・第二次世界大戦におけるナチスの歴史とコルベ神父の生涯を理解する ・ボランティアの精神を見につける ・社会の中の弱い立場の人々を、大切にすることをまなぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・私の力、私の役割 中学校のふりかえり イエスのメッセージ 高校に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・教皇フランシスコの若者たちへの言葉から、自分の人生の歩みを考え、同時に社会や世界の中で、自分の役割について考える。